

商 工 会 報

あ ち

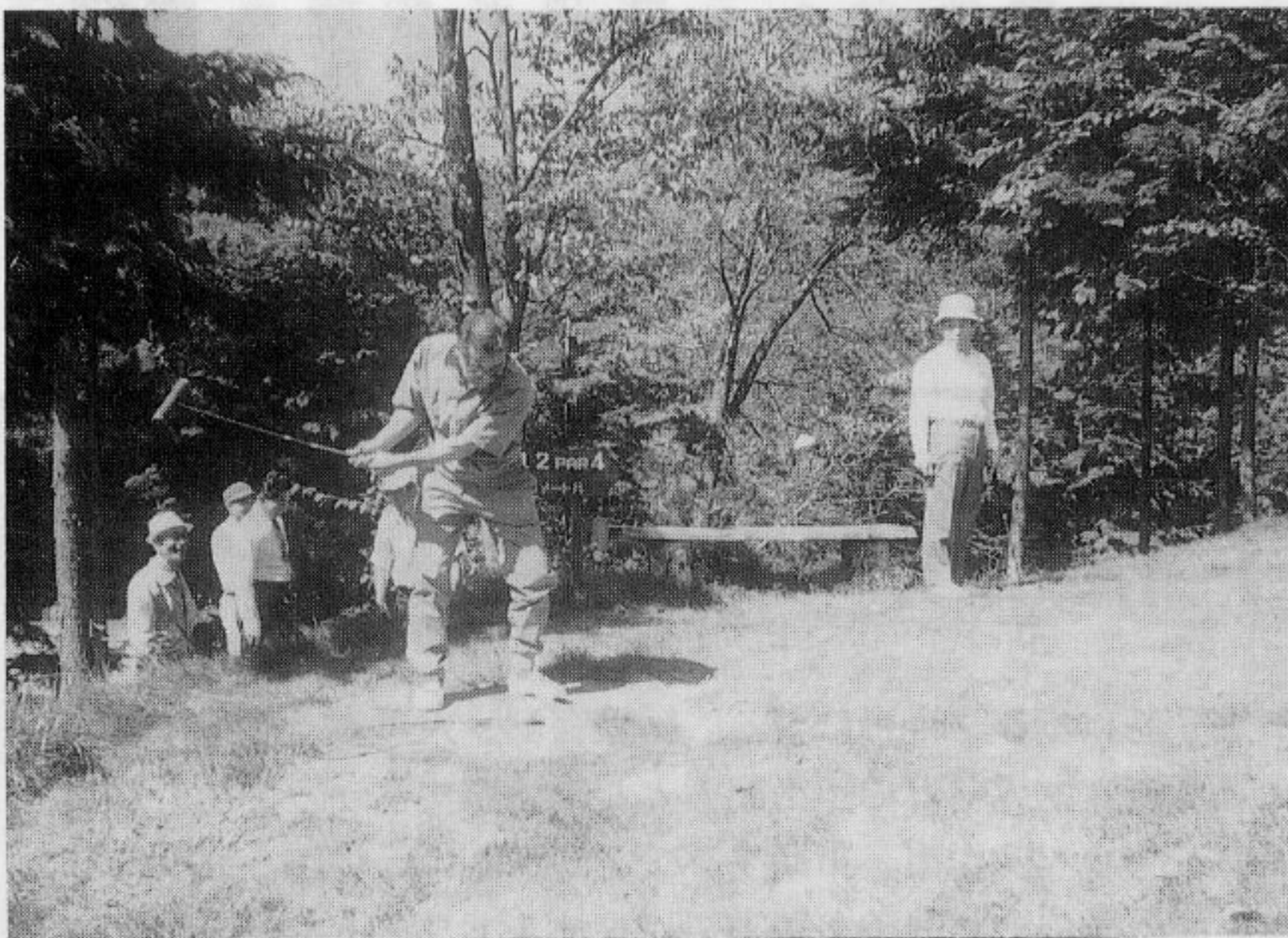
第 16 号

発行 阿智村商工会
43-2241
編集 会報編集委員会
印刷 龍共印刷(株)



ホールインワンも出て和気あいあい

—第2回 マレットゴルフ大会—



まずは、当ててから



こんなもんでいいかな

二回目を迎えた厚生部のマレットゴルフ大会が、十月一日(日)に木槌の森マレットゴルフ場で行われました。

今回、地区対抗戦は行わず、個人プレーで順位を決定するということで、全員、ヒョットすると自分がと、淡い期待をしながらプレーに臨みました。

しかし、ダブルペリア方式なるもので必ずしも、スコアの良い者が順位が上になるとは限らず、参加した方は、集計が終わるまで、気が気ではなかったのではないのでしょうか。

心配していた天候も、汗ばむほどの陽気となり、絶好のマレットゴルフ日和となりました。

三人、四人を一組として、合計十組が、東コース、西コースに分かれてスタートしました。

プレーが開始されると、さすがに真剣になり、随所に好プレーが見られました。パー4のミドルホールでは、グリーンが二段高いためホールの位置がわからず、打ったボールをチームメイトであちこち捜していたら穴に入っていてホールインワンを達成した人もお

りました。

また、真剣になりすぎ、力が入ったせいか、隣のホールに打ち込んでしまう人や、土手下にボールを落としてしまう人や……。

会場は、あちこちで笑い声が上がって、和気あいあいとした中で、プレーを終了しました。

男女を問わず、年令を問わず、腕力を問わないマレットゴルフは、人気が高く、来年も参加したいという方も多勢おりました。

昼食後、商工会館に集合して、成績発表が行われ、上位の方は次の通りでした。

- 優勝 折山 幸一さん
- 準優勝 齊藤 市男さん
- 第三位 岡本 祐治さん

(女性の最高位は、古川知代さんの第六位でした。)

懇親会の席でも、荒井厚生部長の司会で、参加した方ひとりひとりに感想や、反省を話していただくなど、有意義な懇親会だったのでないでしょうか。

厚生部では、今後も、いろいろと厚生大会を計画して参りますので、多勢の会員さんのご参加を、お願いいたします。

職を求めて企業訪問



企業の労働状況を見学する就職希望者

商工会としては、求人難が深刻化しているために、地元企業を直接知ってもらうことにより一人でも多くの人材が、地元企業へ就職できるよう再就職の促進と企業の雇用安定を目的に実施したものであり、機会があれば今後も続けていく方針です。

阿智村でも企業の人手不足が問題となっていますが商工会では飯田職安の協力を得て、去る十一月九日午前九時から商工会館で、飯田市山本、阿智、清内路村の再就職希望者を集めて雇用促進講習会を開きました。

阿智精密(株)、盟和産業(株)、化成工業(株)の三社を訪問して事業内容等の説明を聞き工場内を見学しました。

又講習会には昼神温泉ホテルなど旅館業者(神明荘、ホテル恵山、ホテル阿智川、ホテル光風館、ホテル伊那華、南信美装)や製造業者(阿智産業(株)、(有)阿智精機、(有)木下リネンサプライ)など九社が出席して自社のピーアールを行い就職へ協力を呼びかけました。

新春講演会・新年総会のご案内

恒例となりました新春講演会・新年総会の日程と講師が決まりましたので、ご案内いたします。

講師には、東京放送解説委員で、TBSニュースキャスターの新堀俊明氏をお迎えして、「経済大国日本の役割を考える」と題して、お話をさせていただきます。



新堀 俊明 氏

内容は、日本が経済大国になった経過や、世界に対して、どう対応していったらよいか、また、21世紀に向かい、さらに飛躍する為に今後どのように進んだらよいか、長年のキャリアを踏まえての解かりやすいお話です。

我々商工業者も、今日の経済大国の後押しとして貢献し、将来の活躍も期待されるだけに興味がつきないと思います。

この講演会は、商工会員以外の方でも聴講できますので、お気軽にお越し下さい。

なお、講演会終了後は引き続き会員新年総会を行ないますので、併せてご出席下さい。

日 時 平成2年1月16日(火)午後1時15分
場 所 阿智村商工会館
講 師 新堀俊明氏(TBSニュースキャスター)
テーマ 「経済大国日本の役割を考える」

— * — * — * —

<講師プロフィール>

世界・日本の動きをわかり易く解説する、評判のTBSニュースキャスター。大学卒業と同時に東京放送へ入社。以後報道

畑一筋に歩み、今日に至る。総理官邸、大蔵省、経済企画庁、通産省、財界などの担当記者として活躍する一方、アメリカ、ヨーロッパ、中東、東南アジア、ベトナム、中国、北朝鮮など諸外国の取材経験も豊富で、ワールドワイドな視野に立った解説を得意とする。

世界の政治、経済はもとよりのこと、食糧、資源、エネルギー事情にも通じ、とりわけ、日本経済、円高問題との関わりの中での展望と動向には独自の見解をもち、的確に指針を与えられるジャーナリストとして注目されている。

長年のキャリアから育んできた洗練された情報感覚、誠実な風貌、柔らかで落ち着いた語りをベースに多様な演題をもつ。

“内外情勢の展望とこれからの日本” “円高問題と日本の経済” “世界経済の動向と日本経済” “経済大国日本の役割を考える” “これからの社会—国際化・情報化・高齢化—” “食糧問題・エネルギー・中東問題・科学技術”などのテーマを得意とし、誰にでも解かりやすく説き、好評を博す。モットーは「一生懸命に」。

昭和9年2月17日東京に生まれる。昭和34年3月早稲田大学文学部卒業。同年(株)東京放送入社。昭和39年以降、現場第一線の報道記者として活躍。

昭和45年ニュースキャスターとなり、以後、夜・昼、夕方のJNNニュース(TBS系の全国ニュース)を担当、現在に至る。東京放送報道局専任部長兼解説委員。

昭和56年日本大学芸術学部・講師も兼ねる。現在「サンデーモーニング」に出演。

役員研修

デザインの世界へ旅して

塚 田 宏

見学記

ひと、夢、デザイナー都市が奏でるシンホニーと、銘うつて世界デザイン博覧会が名古屋の三会場で、十一月二十六日まで開催されました。

商工会の事業として、商業、工業、建設の三部により役員視察研修が計画され、参加させていただきました。帰って来て幾日かして、見学記を書くように依頼があり、

大変に困惑しましたが、車中で歌を歌わなかった罰と思い、あきらめ書かしていただくことにしました。

当日は天候にも恵まれ、車中は大変楽しく歌や愉快な話がいっぱいで、ガイドさんに博覧会について説明を聞く間もなく着いてしまいました。この博覧会は、三会場に分かれていて、堀川沿いに北より歴史をテーマとする名古屋城

なっていました。北の正面入口より、未来都市を提案するかのようないろいろなデザインのパビリオンが連続し、南には池があり、噴水が音楽を奏でる、「水辺ゾーン」、その南に「木と緑」に関する展示をしているウツデラランドとなっており、これらの構成は、これからの都市と自然の関わり、新しい街づくりを意図的にデザインしたものと思われます。

住み良い時代へと変っていく、ひとの先人達はそうやって不可能を可能にして来た、夢を持つことは大切だということでしょう。

「デザイン博とは何ですか」とコンパニオンに聞いたところ「光も音も街も何んでも形に現わすのです」と解かったような解らないような返答を頂きました。パンフを読んだり考えたりしてみても、デザインとはテーマの如く、ひとが、心にもつ夢とか、したいことを形に現わす事なのでは、と思いました。仮に空を飛ぶ自動車が欲しいと思う、とその夢を形にしデザインする、そしてそれを可能ならしめるよう研究、創造する、それが文化であり、世の中が進歩し

さて私達はお目あて人気のトヨタ館の行列に着きました。朝早かったので比較的すいていて、のろのろ歩くことと四十分程で入館できました。どの館も長蛇の列で忍耐の連続なのです。トヨタ館は未来体感コーナーとデザインプラザで、体感コーナーはアドベンチャーカーで陸、海、空の未来都市を三〇〇km/hの速度で駆けめぐる迫力ある体験でした。

季を映し出してくれました。三菱館は古代ローマの円形劇場に大きな玉子が乗ったようなおもしろい建物、外国館は世界最大の木造パビリオンで、世界各国のデザインされた伝統工芸品や民芸品、文化等が紹介されていました。日本のパビリオンは、先端のハイテクを駆使された夢あるものが多く、外国との違いを感じました。

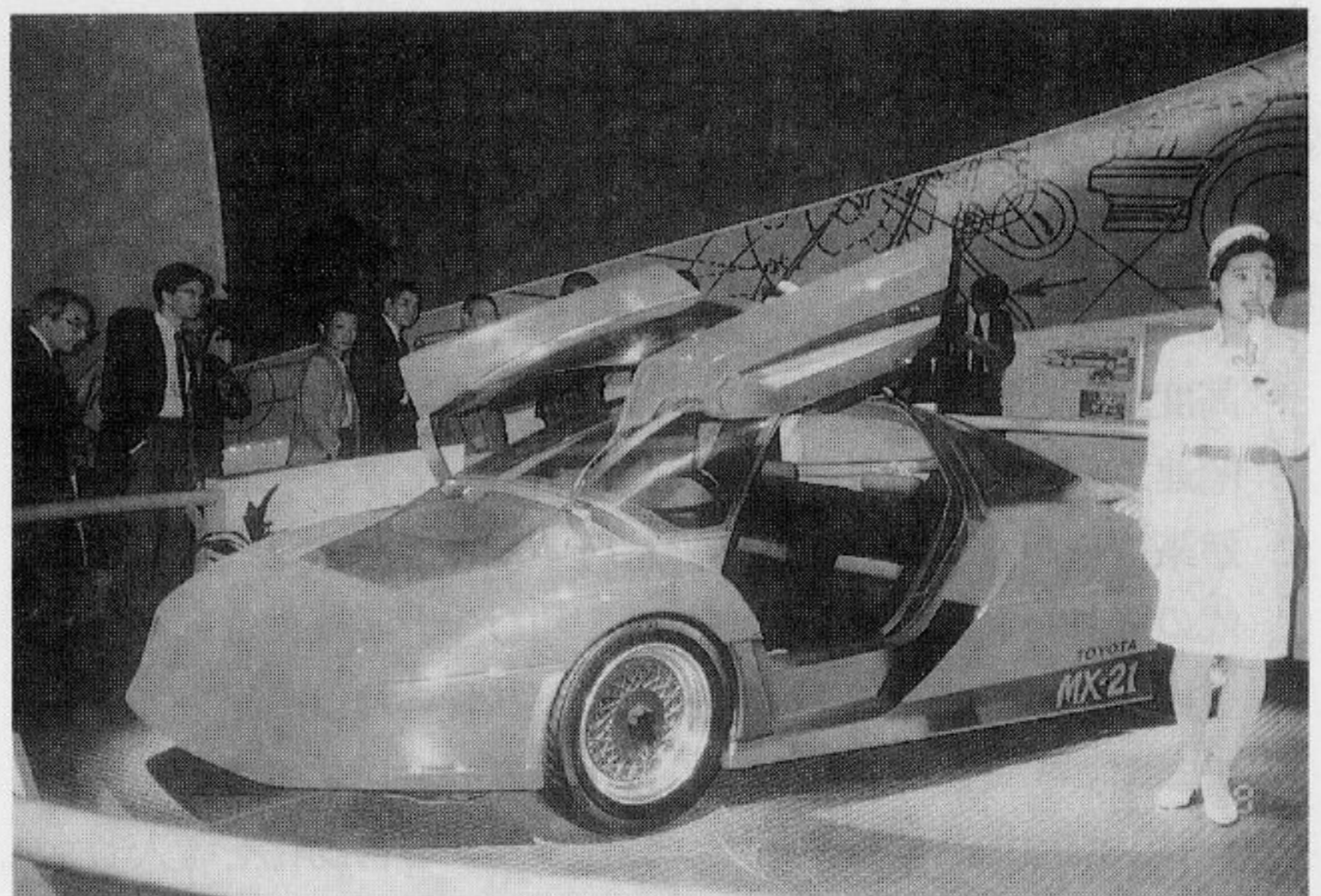


白鳥会場のメインタワー「センチュリープラザ」

会場は元貯木場の跡地で、堀川添いに細長く北より都市的な人口ゾーンからだんだん自然的ゾーンへと変化していく構成に

パビリオンは全部で十九館ありましたが、待ち時間が長いため、他に富士通館、三菱未来館、あいち二十一世紀館、外国館しか見ることが出来ませんでした。富士通館は立体映像が写し出され、画面の中に自分が入り込んでしまうようなダイナミックな方式で四

少々疲れ気味でしたが、帰りの車中、朝同様楽しく、無事帰宅出来、有意義な研修旅行の一日がすぎせました。



トヨタ館の未来カー



平成元年度の県商工会大会式典

また、長年、連合会理事としてご尽力いただきました前 佐々木商工会長に感謝状贈呈、役員功勞者表彰では、中山公道副会長、岡本祐治理事、荒井利典理事、小松勝文理事、水野元一理事、青年部功勞者表彰では、藤本良夫さん、伊坪秀男さん、久保田光男さんがそれぞれ県連会長表彰を受けました。

青年部が

関東通商産業局長表彰

県商工会大

「地域社会に貢献する商工会をめざして」と題して、長野県商工会大会が十月二十六日、辰野町民会館で行なわれました。

- 大会スローガンの
- 一、組織活動の強化・財政基盤の確率等商工会運営対策の推進
- 一、地域産業おこしの推進と商工業振興対策の拡充
- 一、高速交通体系の整備促進

等地域産業自立活性化対策の推進
以上三つのスローガンを満場一致で決議しました。

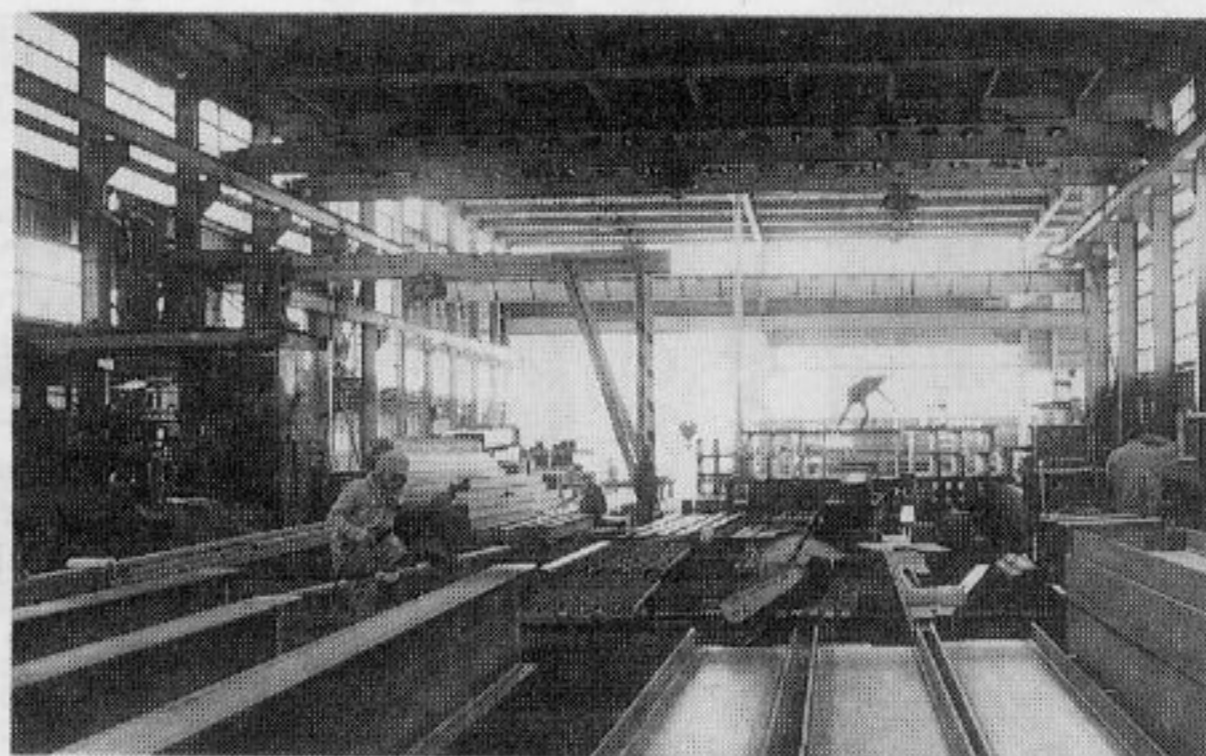
その後、平成元年度の各種表彰が行なわれて、当商工会青年部が、優良青年部として関東通商産業局長表彰・婦人部が県連会長表彰を受けました。

企業探訪

No.14

有限会社小笠原鉄工

11月下旬、霜の降りた土手草に太陽の光がキラキラと眩しい朝方、本社へおじゃまして、社長さんと専務さんにお話を伺いました。



本 社 工 場

- 《代表者》 代表取締役社長 小笠原秀和
- 《創 業》 昭和19年4月1日
- 《資本金》 900万円
- 《従業員数》 男 20 女 4 (村内在住者13名)
- 《主な工事業》

建築一式工事業、鋼構造物・鉄骨工事業

当社は、現社長さんのお父さんが創業されて、阿智村の産業がまだ農業中心だった昭和20年代から30年代、持ち前の仕事熱心とアイデアで、地域の皆さんに随分重宝されていました。社長さんが大学を卒業して家業に就いた40年代始めは、高度成長経済に向う時代で、中部電力の機械化工事、中央道関連工事と、年々大巾に工事高を増やして参りました。又、建築構造が木造から鉄骨へと移行する頃でもあり、そんな時代の流れを、いち早く予測し、昭和47年、手狭になった社屋を駒場から春日へ移し、大規模建築鉄骨の地盤を固めて参りました。すでに、昭和54年には、業界の機械化の流れを先取りし、南信地区では初めて、製作ラインの自動化を導入しました。又、従業員の皆さんには積極的に講習会参加、資格取

得の機会を多くし、57年には現在でも郡下2社のみしか授与されていないという、建設大臣の認定工場として、無限大の鉄骨製作工場の認可を受ける工場となり、現在は設計部門もコンピューター化されています。更に、従業員の定着率も良く、従って生じるポスト不足の解消、受注量の増大に伴う巾広い

人員の確保、又物件の大型化による輸送問題の解決等を考慮し、今年3月には高森町下市田工業団地へ支店工場の進出もなっております。着実に業容を拡大され、現在市場は関東50%、松本・諏訪20%、郡下30%位だそうで、お伺いした時も、茅野、諏訪、神奈川の鉄骨でフル稼働をしている様子でした。

社長さんのお考えからすると、鉄骨は基礎と共に建築の構造を成す最も重要な部分である。従って耐久力のある品質の優れた品物を供給していく社会的責任は大である。こういったお考えによる取り組みと、従業員の皆さんの努力がこれまで会社を前進させ、今日があり、今後は快適な職場環境の創出の為、更に本社工場及び厚生施設の整備に取組み、益々自動化を計り、安定した成長を目指して行きたいと熱っぽく語ってくれました。



高森支店工場

大津屋・虎岩敬二さん所蔵



昭和25年頃、旧道初売り風景と大津屋さんの店頭

シリーズ 我が家の秘蔵写真 第六回

大津屋さんは、初代虎岩代治郎さんから数えて、四代目にあたります。
初代は、農業の傍ら、塩魚・干物・菓子類を商っており、

慶応三年の駒場の大火の折には、たまたま遠州へ仕入にいらしていた記録も残されています。
明治九年、駒場学校が、岩の沢の旧劇場を校舎として近所へ移転した頃から商い品目も、文具・雑貨へと移行して



▲釈迦まつり（花まつり）で役員の人達と（昭和30年頃）
恵比須講まつりで売出しの仮装行列スナップ（昭和30年頃）

まいりました。
上の二枚の写真は、昭和二十五年頃の旧道の初売り風景ですが、戦後二・三年は、初売りといっても物資が無く、お客様が来れば、店の戸を開けて商う程度だったそうです。
写真は、日章旗が飾られ、着物姿の買い物客が散策している様子と、店先には、今では珍しい唐傘やこおりが陳列され、店内では、子供達がお年玉で、おもちゃでも買う姿が写っております。
当時の店は、魚・野菜・雑貨まで何んでも扱う雑貨屋さんが多く、専門店は無かったそうです。
仕入は、自転車で何時間も掛けて飯田へ行き、販売も、清内路村へは始発バスに乗り、最終バスで帰って来た事も、たびたびでした。時々、バスの車掌さんに、手荷物をお願いして配達してもらった事もあったそうです。
当時を振り返り、文具の中でも、鉛筆や万年筆が衰退しシャープペンシルやボールペンが普及し、算盤が電卓へと変わっていった様子には、目を見張るものがあると語ってくれました。

婦人部

豊浜商工会(愛知県)と交流会

婦人部長 中山 守

十月二十五日、天候に恵まれて婦人部の研修旅行が行なわれました。

紅葉の中央道を、バスは快



婦人部の方々と意見交換

適に走り、一路、名古屋へと向い、名古屋高速、知多道と乗り継ぎ約三時間半、目的地の南知多町に着きました。

この町には、三つの商工会があり、その内のひとつ豊浜商工会へおじゃまをして、婦人部の方々と交流をいたしました。

商工会館には、副会長さんをはじめ婦人部長さん、婦人部の方々が迎えて下さり、豊浜商工会の現況や婦人部活動等について詳しくお話を聞き



魚ひろばの買出し

また、こちらからも阿智村の現況、婦人部の状況などを説明し、活発な質問も行い、今後機会を作って、山村と漁

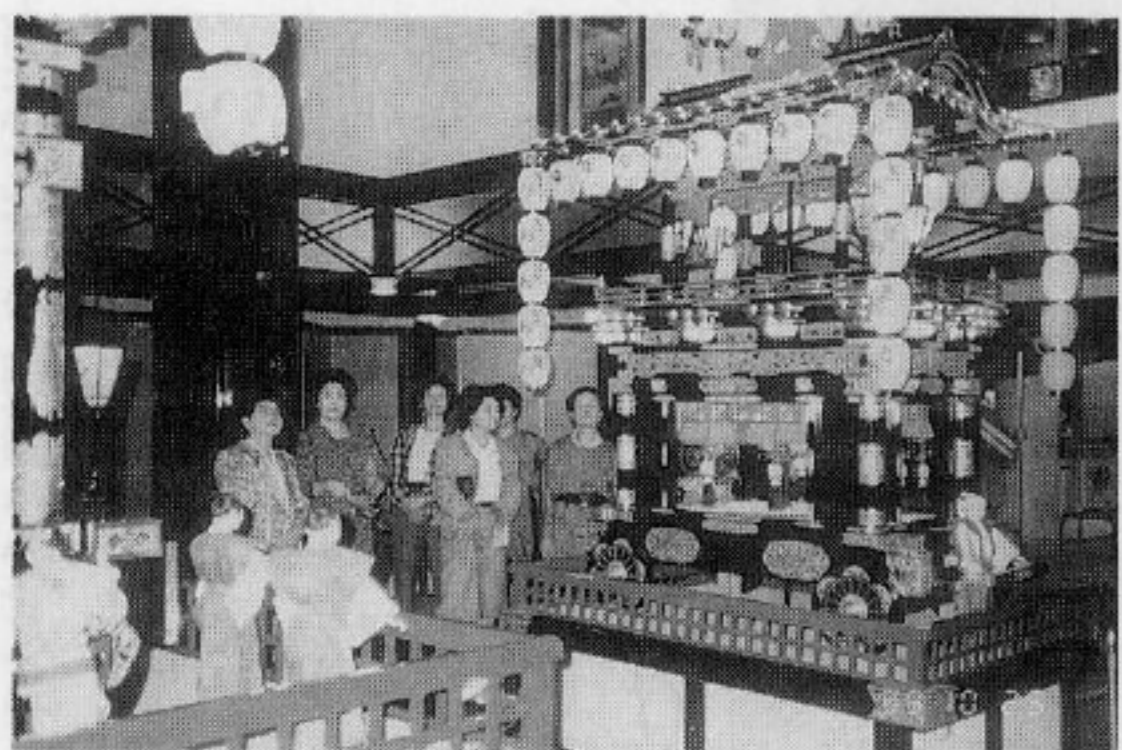
村との交流会を実施し、地域の活性化につなげたい等話し合いました。

何時の間にか予定時間をオーバーする有意義な交流会でありました。

『いつの時代にも、商業者は、世の中を新しくしていく原動力であった事を自覚して婦人部員の仲間意識を強め、伴に向上する部活動をめざしている』とお話しを聞き、大変感心をさせられました。

商工会館を後にして、豊浜魚ひろばで、お土産を買い込み……南知多での荒磯料理の昼食は、山国育ちの私達をしっかりと喜ばせてくれました。帰路に寄った高浜紫峰人形

美術館では、数百体の人形が雛子に合せて踊る、豪華絢爛な春の踊り等に目を見はり、感動の一時を過しました。



豪華なつくりの人形美術館

信金だより

○高令化社会が進むにつれて年金に対する関心は、ますます高まっております。

飯田しんきんでは、法律・経営・税務のほかにこのほど専門家(社会保険労務士)による年金相談業務を開始いたしました。

・年金額は、いくらか。
・いつから受け取りを始めたらいいか。

・受け取りのための手続きはどうしたらよいか。
……など、年金に関するどんなことでもご相談に応じます。

ご相談は毎月特定日の二回行っておりますが、五人以上まとまれば出張開催に応じます。お気軽にしんきん駒場支店へお問い合わせください。
○いざなぎ景気をも凌ぐ勢いの好景気が続いております。
年末は、ただ今お取り扱い中の低利な季節資金をご利用ください。
一、利率 年五・一％
一、お一人 五〇〇万円

夢を大きく育てたい。

小規模企業共済月額掛金が5万円から7万円に!

◎掛金は全額所得控除

掛金は、税法上、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として課税対象所得から控除できます。(1年以内の前納掛金も同様に控除できます。)

◎加入できる方

- 常時使用する従業員の数が20人以下(商業・サービス業は5人以下)の個人事業主及び会社の役員
- 事業に従事する組合員の数が20人以下の企業組合の役員
- 常時使用する組合員の数が20人以下の協業組合の役員

◎毎月の掛金

- 毎月の掛金は、1,000~70,000円(500円刻み)
- 加入後増額ができます。減額する場合は一定の要件が必要です。
- 掛金は預金口座振替で納付する方法と委託団体に納付する方法とがあります。

事業主の退職金共済制度 小規模企業共済

珠算検定試験合格おめでとう

十一月十九日(日)商工会館において、第八十三回全国商工会珠算検定試験を行いました。今回の受験者は百二十四名、合格者は四十六名、合格率は三七・一%でした。合格者は次のみなさんです。

- 十一月十九日(日)商工会館において、第八十三回全国商工会珠算検定試験を行いました。今回の受験者は百二十四名、合格者は四十六名、合格率は三七・一%でした。合格者は次のみなさんです。
- 一級 小笠原久実さん
- 二級 田中 宏美さん
林 ゆかりさん
飯島 彩子さん
- 三級 原 宏卓くん
田中 寛美さん
上田 美光くん
東谷 隆治くん
林 祐行くん
小池 隆代くん
玉井 和美さん
小笠原史恵さん
- 四級 園原 淳子さん
田原 宏樹くん
佐藤ゆかりさん
佐々木 剛くん
岡庭加奈子さん
井原 努くん
安藤 香織さん
- 五級 沢井 雅彦くん
勝野 真也くん
上田 久臣くん
園原 直美さん
木下 正之くん
鈴木 彩予さん
玉置 伸子さん
佐々木麻衣さん
木下 貴子さん
園原理恵子さん
原 晃子さん
今村 博一くん
- 六級 鈴木 彩予さん
玉置 伸子さん
佐々木麻衣さん
木下 貴子さん
園原理恵子さん
原 晃子さん
今村 博一くん
- 七級 今村 博一くん



1級合格の
小笠原久実さん

やっと受かった一級
小学校四年から始めたそばんも、二級までは順調に受けました。でも、一級は簡単には受からず、五年の二月から約二年。途中、あと五、十、十と落ちてしまつたところもありました。

中学に入り、部活、勉強といろいろ忙しく、なかなか練習ができなくなりました。でも、「あと少しだからがんばらない」と思って、一生懸命やってきました。そして、やっと一級が受かりました。それに、一級が受かったのは、井原先生のご指導とはげましがあつたからこそだと思ひます。本当にありがとうございます。

- 原 謙太郎くん
- 酒井 謙晃くん
- 米沢 郁恵さん
- 笹 真弓さん
- 藤本 瞳さん
- 山田 公子さん

- 久保田知則くん
- 高橋めぐみさん
- 井原美佐子さん
- 原田 忍くん
- 木下 留奈さん
- 上原 梨絵さん

八級 佐々木集仁くん
細江 恵美さん
木下 耕一くん
次回の検定試験は、二月十八日です。

パートタイムで働く方へ

雇用保険が変わりました!

平成元年十月一日から、雇用保険法が改正されました。

以上、週所定労働時間が三十三時間以上のパートタイム労働者の方は、一

トタイム労働者の方は、一般被保険者となります。

今まで、「通常労働者の4分の3以上の労働時間」かつ「年収九十万円以上」を目安に、それ以外の方は、雇用保険被保険者になりませんでした。一週間の所定労働時間が二十二時間以上、一定の要件を満たせば雇用保険の被保険者となることになりました。一定の要件とは、

- ①一週間の所定労働時間が二十二時間以上であること。
- ②一年以上引き続き雇用されることが見込まれること。
- ③年収が九十万円以上あること。
- ④労働時間、賃金その他の労働条件が文書で定められていること。

基本手当の支給は

日 額

基本手当の日額は、受給資格者が在職中に得ていた賃金の1日分の6割~8割相当額です。(ただし、最高は7,330円、最低は一般被保険者については2,570円、短時間被保険者については1,930円です。)

給付日数(所定給付日数)

基本手当は、受給期間(原則として、離職後1年間)内で失業している日について、次の表に掲げる日数分を限度として支給されます。

被保険者の区分	一般被保険者			短時間被保険者		
	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
年齢						
30歳未満	90日	90日	180日	90日	90日	180日
30歳以上45歳未満	90日	180日	210日	90日	180日	180日
45歳以上55歳未満	180日	210日	240日		180日	210日
55歳以上65歳未満	210日	240日	300日	180日	180日	210日
就職 困難者	55歳未満	240日		180日		
	55歳以上	300日		210日		
	65歳未満					

☆被保険者であった期間が1年未満である場合は、一律90日です。

財形持家転貸融資のご案内

～従業員に長期・低利の社内住宅融資を！～

従業員の住宅の建設・購入・改良資金を融資しようとする事業主の方々に、必要な資金を雇用促進事業団が長期・低利で融資します。

これにより、従業員の方々は、勤務先を通じて、長期・低利の住宅資金の転貸を受けられます。

◎融資を受けられる方／財形制度を導入している事業主

◎転貸を受けられる方／財形貯蓄（財形年金貯蓄、財形住宅貯蓄を含む。以下同じ。）を1年以上行い、50万円以上の残高がある従業員

◎融 資 額／従業員1人当たり、その財形貯蓄の5倍～10倍（最高3,000万円）まで

◎融資金利／年4.4%（変動金利制）（金融情勢によって変わることがあります。）

◎返 済／最長35年

◎併 用／住宅金融公庫の通常融資、年金福祉事業団の転貸融資と併用可能
※雇用促進事業団は、「福利厚生会社」、事業主団体にもこの融資を行っていますので、事業主が、これら「福利厚生会社」などに参加していますと、手軽にこの融資をご利用いただけます。

<お問い合わせ先>

阿智村商工会 TEL43-2241



記帳に基づくと

正しい申告を

所得税や法人税などは、納税者が自ら税法に従って自分の所得と税額とを正しく計算

して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。

大部分の納税者は適正な申告と納税をしていますが、なかには申告しなければいけないのに申告しなかったり、誤った申告をしたり、あるいは故意に過少な申告をする納税者が、まだまだいるそうです。商売などをしていての方が、自分の所得を正確に計算する

ためには、毎日の取引をきちんと記帳し、保存しておくことが必要です。

記帳にも簡単なものから、各種の帳簿を備えた高度なものまでいろいろありますが、定められた簡易帳簿など一定水準以上の記帳をし、その記帳に基づいて正しい申告をする場合には、所得の計算上有利な取扱いが受けられる青色申告の制度が設けられていま

す。

青色申告をすることができるとは、事業所得や不動産所得、山林所得のある方です。また、青色申告をしていない方で事業所得や不動産所得及び山林所得があつて、一定の条件にあてはまる方は、記帳や記録の保存などをしなければなりません。詳しくは、商工会へお尋ねください。

国の進学ローン（国民金融公庫）のご利用を！

（平成元年12月1日現在）

対 象	進学予定者の親族または本人
融 資 額	1進学者あたり100万円以内
利 率	年6.2%
融資期間	5年以内（据置1年以内） 交通遺児家庭または母子家庭は6年以内
資金使途	入学時の納付金、受験のための交通費・宿泊費、教科書・参考書代、アパートの敷金など進学に必要な費用
返済方法	元利均等毎月払、ボーナス払併用もできる
保 証	(財)進学資金融資保証基金または保証人1名以上
申込窓口	国民金融公庫各支店、銀行、信託銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協など最寄りの金融機関

編集後記

△今年には昭和天皇崩御、消費税実施、又商工会でも役員交替と変化の多い年だった。と同時に一九八〇年代も残り僅かとなった。この十年間阿智村の昼神を中心とした観光面での発展は著しい。

さて次の十年間、二十世紀の総仕上げはどう変わるだろうか。「ゆとりある生活」を楽しむ時代が予想される。

中央道園原インター工事も着工し、第三セクター阿智総合開発(株)や智里西地区開発協同組合、智里東農事組合法人等活躍も含めて夢はふくらむ。△園原インター着工と言えは中央リニア新幹線、三遠南信自動車道等もこの十年間には実現が予想される。高速道時代に乗り遅れない様、真剣に検討を進めなくてはならない。△昭和六十一年末から内需中心の好景気が続いている。しかし中小企業にはその好影響は弱く、むしろ好景気による人手不足が大きな問題となっている。当商工会でも、再就職促進講習会、財形制度促進による雇用安定等対策を講じているが、人材の絶対不足には手の打ちようがない。